

キーワードを入力  | Q

トップ | 速報 | ライブ | 個人 | オリジナル | みんなの意見 | ランキング | 有  
主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

## 石川県の小さな町が東大生とタッグ！町挙げての“学力向上作戦”で存在感を！

9/9(木) 20:48 配信  4 



「現役東大生から勉強を教えてもらえる」そんな取り組みでなどを通して、子どもの学力を伸ばしているのが町があります。少子高齢化が進む中、町の新たな魅力向上にと始まった、新たな取り組み取材しました。

### 東大生による講演会に、東大生による勉強会

7月、石川県宝達志水町で開かれた、現役東大生で作家でもある西岡孝誠さんの講演会。西岡さんは、東大を志す受験生を描いたTBSテレビのドラマ「ドラゴン桜」の監修も務め、自身の経験から学ぶことの楽しさや可能性を熱く語りました。



「どこにだって行ける、やりたいことできる。だってみんな若いじゃん。だけどその時に一番何が足を引っ張るかという、自分の中の“あきらめ”の線。窮屈な物差し。これ

現役東大生で作家の西岡孝誠さん

が皆さんの足を引っ張る」(西岡さんの講演)

東大生の力を借りた取り組みは、これだけではありません。

夏休みの中学校では、元気に部活動に励む生徒がいる一方、熱心に教室で机に向き合う徒の姿も…。

参加した学生は、「3年になって受験も近いのでわからないところを質問して理解しようと思って来た」、「年が近いので説明の仕方とか分かりやすい」と話します。

夏休みを利用した勉強会に講師として招かれたのは、東大をはじめ金沢大学などに通う町出身の現役の学生たちです。後輩のためならと、町からの依頼に応じたと話します。

(東大文科三類一年・中島涼さん)「夏休みも学校に出てきて勉強していてすごくまじめで立派だなと思います。卒業した人呼んで後輩の育成役に充てるアイデアが面白いかなと思いました」

町を挙げてのこうした東大生の力を借りた学力向上の取り組みには、きっかけがあったと町長は話します。

### きっかけは“町への投書”…学力テストで上位に



町を挙げての学力向上作戦

(宝達志水町・宝達典久 町長)「町に投書のような形で学生たちが勉強できる場所を作ることはできないかと。県内にとどまらずですね、広く、レベルの高い方と接する機会があればというふうに考えました。」

町民からの要望を機に、講演会を通じて生徒たちの意識を高めたり、積極的に勉強会を開いたりして、学力の底上げに力を注ぐ宝達志水町。

実際、小学6年生の全国学力テストでは、5年前の2016年度から県平均を常に上回っています。

さらに町長は「やっぱり子育て世代の方は、教育熱心な方は、良い環境が整ったまち、地域を求めて暮らしたいとそんなことも考えられるかなと思いましたので」と話します。

次ページは：「勉強ができる子が育つ町」をアピール

キーワードを入力  

トップ | 速報 | ライブ | 個人 | オリジナル | みんなの意見 | ランキング | 有  
主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域

## 石川県の小さな町が東大生とタッグ！町挙げての“学力向上作戦”で存在感を！

9/9(木) 20:48 配信   4

### 「勉強ができる子が育つ町」をアピール

子育て世代に対し「勉強ができる子が育つ町」のイメージを強く訴え、人口が減っている町への移住を促す戦略です。来月に完成する町のPR冊子でも、マンガで「教育に力を入れる町」をアピールしています。町の文化や歴史以上に、教育への取り組みにページを割くのは、初めての試みです。



子を持つ町民からは、学ぶ機会が増えることを歓迎する声が聞かれます。夏休みの勉強会に子どもが参加した片原さんも、東大生の講演会が転機だったと振り返ります。

子育て世代にアピール

（娘・片原陽菜さん）「東大生とかに勉強を教えてもらう機会がないから来た。ここだったらみんなと勉強している感じがあって集中しやすい。」

（母・片原真理子さん）「勉強会に行け、行けと言っても本人が乗り気じゃなかったらな…と思ったら、本人は「行きたい」って言ったので。「よし！」みたいな。「やればできるかも！」みたいなかんじでスイッチが入った感じはします」

子どもの意欲が高まったことで、夏休み中でも部活動と勉強会を両立し、メリハリのある生活が効果をより上げたと話します。

（母・片原真理子さん）「教育に関しては町の力が入ってきたなとは感じます。子どもとともに親も学べるというか、成長できるというか、そういうのをどんどんやってほしい」

### 教育長「学びの場を増やす」

（町教育委員会・細江孝 教育長）「本町独自のということになるかもしれませんが、一言で言うと学びの場を



町長と教育長

増やす。先生方のこれからの教育に対する意識改革も図ることをこれから目指していきたい。それは全て、児童生徒の成長のために。この町では子供たちの力を伸ばせる町であるということを進めていきたい。」

町民からの期待を受け、町では、新たな取り組みも始めていました。それは教員の指導力向上です。

### 中学校で予備校講師の授業…学力と指導力の向上へ

(特別授業の講師)「こうやったらうまくいくぞというのを君たちは知っているはずなんです。本で読んだかもしれないし、先生に言われたかもしれないし、自分で思ったかもしれない。どれかわからないけど君たちは知っています。君たちはきっと「何をやればいいのか」は知っているけどやらないだけです。」



夏休みの中学校で開かれた特別授業

夏休みの中学校の教室を活用して開かれたのは、予備校の講師による特別授業。授業は生徒だけでなく、教える側の教員にも開放し、授業を見学してもらいました。

(参加した小学校教員)「テストで出やすいところを授業の問題にしていたので知識を深めてあげるといのは一緒なのかなと。」

(参加した小学校長)「小学校と中学校というのは全く別のものではなくて、繋がっているなと思ってみている。」

学校現場の公の教育だけでは補いきれない部分を民間の力を借りながら子どもたちをサポートすることで、学力向上とひいては教員の指導力向上につなげようというものです。

### 地域に活力を生み出すきっかけに



夏休みの中学校で開かれた特別授業

(細江孝 教育長)「子供たちのこれからの成長のために使えるものはいろいろ使っていこうと。どうしても中学校はその個別指導、放課後の個別指導と言ったものがなかなか充実できない、そういった面を軸にお願いする形で、学校と塾と連携してですね、子供たちの成長を目指していきたいと考えております。」

町が率先して学びの場を提供する姿勢が、地域に活力を生み出すきっかけとなるのか、新たな取り組みが続きます。